



しんぶん

9

広報

1995. No.291

◎発行と編集／新地町役場・企画振興課（〒979-27 福島県相馬郡新地町谷地小屋字萩崎40 ☎0244②2111・FAX②3194）



去りゆく
夏を惜しんで

主な内容

遊海しんち	2～5
成人式・戦没者追悼式	6～7
ごみリサイクル	8～9
町の話題	10～11
お知らせ	14～15

1995年夏の思い出



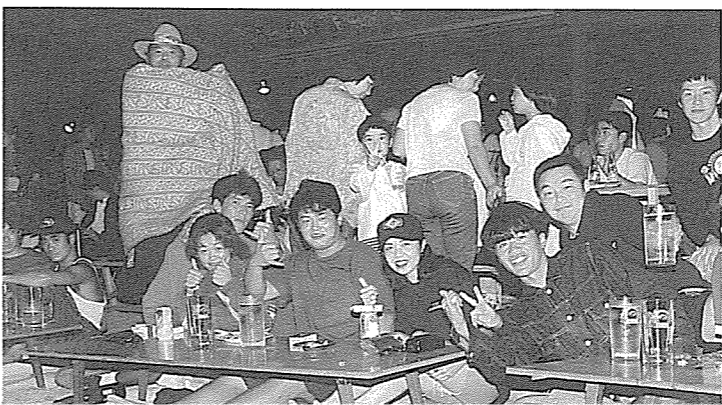
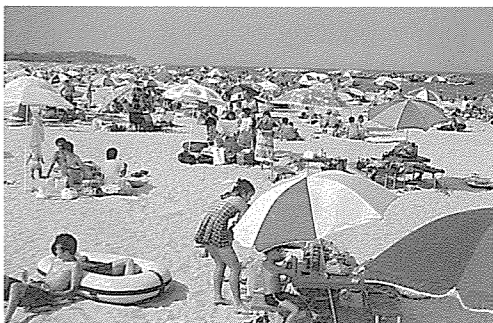
冷夏の予想が一転して連日30度を超す猛暑となった今年の夏。

ジージーと鳴くセミの声を聞きながら、戦後50年を迎えた8月15日。

夜ともなると、どこからともなく祭りばやしやの笛や太鼓の音が聞こえた夏…。

それぞれの思い出を残して今年の夏も終わりました。

1995年・夏。あなたにとつてどんな夏でしたか…。



遊海しんち'95

夏が一番好き!

8・5〜6 3万6千人がしんちの海を満喫

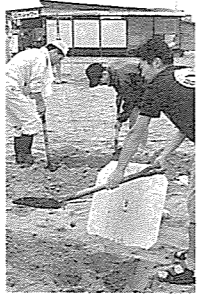
小雨の降るなか、

花火を合図に開会

新地町の夏の一大イベントとして定着した感のある「遊海しんち」。今年は八月五日〜六日の両日、釣師浜海水浴場周辺で行われました。猛暑が続いた今年の夏でしたが、五日は朝から小雨が降るあいにくの天候でした。肌寒い浜辺に立って実行委員会のメンバーたちが不安げに空を見上げていました。「今朝五時にここにきて海を眺めていたけど、大丈夫だ。(天候は)よくなるって」と地元の人々が笑顔で語りかけていました。

釣師浜海水浴場の入り口では、出店や模擬店の関係者らがテントを設営、会場の北側ではビーチバレー関係者らが、三コートセットし、コート内の小石を念入りに取り除いていました。

十時。花火を合図にいよいよ開会です。特設ステージの周りにこの日を楽しみにしていた観客が続々と集まってきました。開会式ではゲストの元プロボクサー渡嘉敷勝男さん、漫才のUBUが紹介され、参加者全員でジェット風船を飛ばしました。



▲朝早く会場準備



潮風を肌感じて 地引き網楽しむ

ふるさと産品即売では今年産の冷やしたイチジクワインが好評、漁協青壮年部の新鮮な焼き魚、同婦人部のホッキ飯の即売、焼きそばやタコ焼きなどの模擬店が並び人気を博していました。

砂浜で行われた「地引き網大会」は渡嘉敷勝男さんらと一っしょに約百人が参加し、潮風をいっぱい肌で感じながら引き網を楽しみました。網の中に大きなスズキやイシモチ、サバなどがはいっている



▲ドラゴンボール孫悟空に会えてウレシイ!!

のを見て、子供たちは歓声を上げていました。

十二時。大漁旗を立てた六十三隻の漁船が釣師浜海水浴場から相馬港5号ふ頭にかけてパレード。波のしぶきを受けて走る姿は勇壮そのもの。昨年を引き続き、小学生らによるヒラメの稚魚放流も行われました。

ところで、天候の方はなかなかよくなる様子がありません。夜の部の花火大会も準備の都合で、実施するかどうか決断が迫られています。昼になっても、二百ある火力発電所の煙突が雲に覆われまったく見えません。花火大会は翌日に順延となりました。

人気を集めたのは やっぱりホッキ狩り

写真コンテストには三十四人が参加し、イベントの様子やタレントの渡嘉敷勝男やYBUの水着姿などに盛んにシャッターを切っていました。

今年から実行委員会に加わった若者たちがウルトラクイズを企画。賞品は最新式のカセットデッキや高級カメラが当た



▲大きくなれとヒラメ稚魚放流



▲何がかかっているかな?(地引き網)

るとあって約百五十人が参加。新地町に関する問題など出され、地元の利用を生かして町内出身者の小泉幸二さんが見事優勝に輝きました。

賞金総額二十万円のビーチバレー大会には一般、小学生、飛び入りの部三十二チームが参加、砂浜で熱戦が繰り広げられました。

無料でいくつものホッキが採れるとあって超人気のホッキ狩りには、約六百人が砂浜に並び、花火を合図に海水浴場の浅瀬にまかれた約三千四百個のホッキを夢中で採っていました。

ホッキ狩りを最後に予定のイベントは終わり、明日の夜は花火大会です。関係者らは、天候回復を祈りつつ帰路につきました。



▲浜辺でバーベキューもいいなあ

夜空を焦がす スターマインに魅了

六日の夜、午後六時。肌寒かったもののまずまずの天候となりました。花火を見ようと、釣師浜海水浴場周辺に観客が集まってきました。交通指導員や係員らが無線で駐車場の様子を連絡しながら、交通整理に当たり、地元消防団らが警備につきました。

七時三十分、花火大会が始まりました。海に映える尺玉、スターマインなど約千二百発が打ち上げられ、ゆかた姿で訪れた観客たちのため息を誘いました。弾ける光の粒と大音響が、潮の香りとともに巡ってきた夏のだいご味となってあたりを包み込みました。



▲一人で10コも採った人も。(ホッキ狩り)

イベントを通じて 地域づくり広がる

今回はあいにくの天候でしたが、それでも二日間で三万六千人が訪れ、盛況でした。遊海しんちは、地引き網やホッキ狩り、海に映える花火大会を通じて、海を生かした町づくりを進めようと企画されたイベント事業です。

今回も四月早々から漁協、商工会、農協の青年部、婦人部、青年団体、バレーボール協会などのメンバー二十数人で実行委員会を結成、何度も会議を重ね準備を進めてきました。三年目とあって、メンバー同士の気心も知れ、積極的な意見交換がなされました。七月初めには二班に別れて、



▲福島から来ました。来年も来ますのでヨロシクネ!!

先進地を視察。「地域に密着したイベントの企画が重要」 「まず、自分たちが楽しむこと。それが成功につながる」 「行政主導から地域住民主体のイベントにしていきたい」 「賞品は地場産品を活用しよう」といった意見が聞かれました。

遊海しんちは、海のある町をより強く印象づけるとともに、イベントを通じて地域住民の連帯という、町づくりに欠かせない大きな成果を残しました。

また、交通指導員、消防団、警察署、地元関係者らの皆さん、そして、花火大会に協賛をいただいた企業・団体、個人の皆さん、お世話になりました。どうもありがとうございました。

声 いろいろ

▼駅のポスターを見て来ました。天候がイマイチで残念でしたが、地引き網が楽しかったです。(仙台市の女性グループ)

▼今度は全日本ビーチバレー大会選手権といったイベントを企画し、全国から若者たちを集めてほしい。(青年Aさん)

▼毎年夏は、新地の海にきています。今日は寒くて泳ぐ気がしなかったけど、イベントが見れてラッキー、かな。(福島の女性)

▼生まれて初めて漁船に乗れてとてもよかったです。(町内の小学生)

▼ホッキ飯や焼き魚が大変おいしかったです。(福島の男性)

▼華麗な花火に夏を感じました。ふるさとに帰ると花火で迎えてくれる、いつまでもそんな町であってほしいと思います。(東京在住の女子大生)

▼地域ぐるみで町を盛り上げようという意気込みが感じられました。インパクトがもう一つ。せっかく海でやるのだから、水泳大会とか海上綱渡りなども企画してください。(県内Bさん)

ビーチバレー大会

【一般の部】

優勝 やすゆきくんチーム
パワーズ
POWER UP
準優勝 ポバイ
エネルギーVI
イエローカード

【小学生の部】

優勝 駒ヶ嶺ジュニアB
準優勝 駒ヶ嶺ジュニアA

【飛び入りの部】

優勝 ミナミチャンチーム
準優勝 マキチャンチーム



ウルトラクイズ大会

一位 小泉幸二 (名取市)
二位 加藤伸二 (小川)
三位 村畑 修 (中島)
町長特別賞
村畑妃奈子 (中島)
斎 文人 (仙台市)



お盆成人式

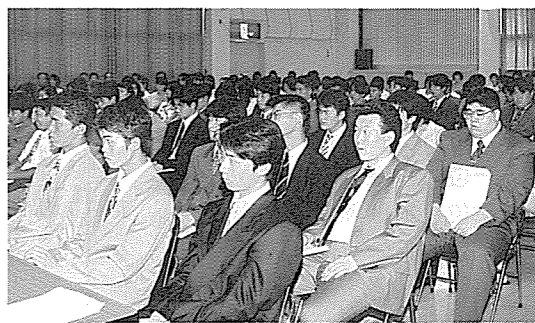
希望を胸に二十歳の旅立ち

今年もお盆成人式が八月十五日、農村環境改善センターで開かれ、百五十四人が大人の仲間入りをしました。



▲晴れやかな表情で会場入り

式では、荒町長が「益々、努力して知性を磨き、四十にして惑わざる立派な大人になってください」と式辞を述べ、成人者を代表して、寺島一宏さん(大戸浜)が「若い力を発揮し、町づくりの一役を担いたいと思います」と答辞を述べました。つづいて、十人の代表による成人の主張が行われました。また、記念講演では、無農薬の野



▲大人としての自覚も新たに

菜栽培と、手作り人形劇に勤しむ大河原伸さん(船引町)が『ボクを探しに』と題して、「二十代をどう生きたかで、人の人生が決まります。やってみよう、いつの日か、本当の自分を見つけてください」と成人者に熱いエールを送りました。

『成人の主張』から

◇後悔しないように、今しか出来ないことは、今やりたいと思います。

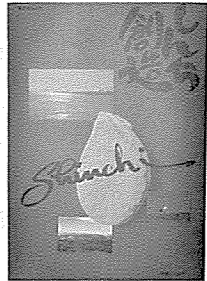
(渡辺秋子さん)

◇小さい頃、バイクに乗って

町勢要覧

『しんち創造』

発行



このほど、五年ぶりに町勢要覧を発行しました。表紙には、かぼちゃの種が載せられており、「はじめるは、一粒の種だった」の一文から始まる本編は、カラー刷りの三十二ページ。写真をふんだんに取り入れて、しんちの概要を紹介しています。

町勢要覧は町のPR紙として、来町者などに配布します。

自分はいかにのかと。

(目黒堂真さん)

◇本音で自由に生きてきた学生時代から、建前で生きなくてはならない社会人になる節目の年を迎えます。自分には何が必要なのか、これから何を必要とするのかを考え、青雲の志を大切に励んでいきたいです。

(荒秀人さん)

◇小さいころの夢は沢山あり、その中の一つに、パレーで県の頂点に立ちたいと思っていました。その夢を社会人になっても追い続け、やっと達成することができました。人間、何事も成せばなります。

(森裕美さん)

町戦没者追悼式

平和への誓い新たに



▲おごそかに追悼式が行なわれた

戦後五十周年を迎え、町主催による町戦没者追悼式が八月十三日、農村環境改善セン

ターで開催されました。真夏日の熱い中にもかかわらず、遺族会、来賓ら約三百三十人が参列しました。

363人を慰霊

八月十五日、日本は戦後五十年を迎えました。一九四一年十二月八日、真珠湾攻撃に端を発した太平洋戦争は、広島・長崎の街を一瞬のうちに消滅させた原爆投下を経て、四五年八月十五日、日本のポツダム宣言受諾によって終結しました。この戦争によって、戦死・戦病者は全国で約三百万人とされます。新地町でも多くの人が戦場



▲遺族が献花

に行き、そして、多くの人が亡くなりました。町遺族会で分かっているだけでも、実に三百六十三人を数えます。会場内には荘厳な「海ゆかば」の曲が流れ、壇上には、千二百本の真っ白な菊の花が飾られた戦没者慰霊碑が建てられ、おごそかに追悼式が始まりました。

国歌斉唱、三百六十三柱の戦没者に黙とうを捧げました。

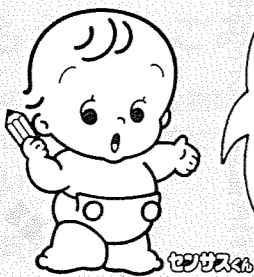
荒町長が「戦争の悲惨さを風化させることなく語り継ぎ、平和の町づくりを進めていきたい」と式辞を述べ、知事代理の羽田裕相双社会福祉事務所所長、寺島洵一町議会議長、庄島キミ県遺族会長が追悼の言葉を捧げました。来賓や遺族会代表者らが献花をしました。

終了後、同会場で町遺族会主催の慰霊祭に入り、しめやかに神式の祭事、仏式の法要が執り行われました。

出席者は、「戦争の悲劇を繰り返さないためにも、あの時代のことを若い人たちに語り継いでいきたい」と語り合っていました。

調査員が自宅にお伺いします

十月一日、全国一斉に国勢調査が行われます。この調査は赤ちゃんからお年寄りまで、日本に住んでいるすべての方が対象となる大規模な統計調査です。調査の結果は、福祉、教育、雇用、住宅など生活に密着した問題について、国や都道府県、市町村が、これか



ご協力よろしくお願いします

10月1日は、国勢調査の日です

十月一日、全国一斉に国勢調査が行われます。この調査は赤ちゃんからお年寄りまで、日本に住んでいるすべての方が対象となる大規模な統計調査です。調査の結果は、福祉、教育、雇用、住宅など生活に密着した問題について、国や都道府県、市町村が、これか

調査員

草野輝男(沢口)・横山萬明(地)・半澤俊郎(鉄炮町)・岡元淳(中里)・荒巖(木崎)・荒健二郎(崎浜)・荒正芳(作田)・宇佐見昭(下真弓)・太田智明(上真弓)・島栄七(岡)・加藤春男(岡)・大堀二郎(岡)・森真(杉目)・水戸好美(杉目)・菊地忠(新地町)・三品好春(新地町)・後藤顯一(新地町)・横尾富男(中島)・荒馨(釣師)・平胞雄(釣師)・斎藤福太郎(釣師)・寺島俊夫(小川)・菅野強(小川)・小野二郎(小川)・森輝夫(大戸浜)・竹

澤正美(大戸浜)・門馬義一(大戸浜)・小泉一雄(今泉)・八巻武男(菅谷)・斎藤利幸(菅谷)・山内一二(高田)・木村孝行(浜民)・後藤桂一(新町)・阿部照雄(駒ヶ嶺町)・大和田公夫(城内)・荒一夫(今神)・吉田進(藤崎)・目黒清文(富倉)・伊達昭(原相善)

指導員

鈴木一夫(鉄炮町)・片平洋子(新地町)・阿部孝(城内)

環境整備指導員

加藤邦昭(岡)

始めようリサイクル

ごみも大切な資源

全国的に大きな問題となっている、ごみ問題。私たちの生活から決して切り離すことができないごみの処理は、今では深刻な問題です。「混ぜればごみ、分ければ資源」の言葉どおり、私たちの意識が少しだけ向上するだけで、ごみの減量化につながります。私たちが生んだごみだから、

私たちが住む町なのだから、皆さんも考えてみませんか。
増え続けるごみ
一世帯当り一万三千元
 町で処理されるごみの量は、一年間で約八百三十六トン（平成六年度）で、そのうち、

燃えないごみは、約二百六十トン、燃えるごみは、約五百二十トン、粗大ごみ、四十トンにもなります。
 町民一人が一日に出すごみの量は、昨年よりわずかに減

少ししたものの、三年前と比べると、約一・二倍にも増大しています。
 町が支出しているごみ処理にかかる費用は、一年間で三千百万円、世帯に直すと、一


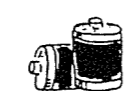
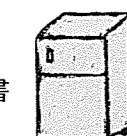

万三千元にもなります。これらの費用は、すべて町民の皆さんの税金でまかなわれています。ごみの量が増えれば、それだけ多くの費用がかかります。

ごみだって大切な資源

皆さんの家庭から収集された不燃物のうち、缶やビンは、一年間で二百二十トン。その中から、資源化された缶は、約四十三トン、ビンは、約百七十七トン、埋め立て量は、約四十トンになり、収集された量の八五パーセントが資源化されました。これらをリサイクルして得た利益は、約十六万円になり、それほど多い金額ではありませんが、一方では最終処分場の延命化、または資源保護として、地球



【ごみの分け方・出し方】

<h3>もえないごみ</h3> <p>■瀬戸もの、ガラス、金物類など ●種類別にナイロン袋等に入れて出して下さい</p> <p>※部落、氏名を書いて下さい。</p> 	<h3>有害ごみ</h3> <p>■乾電池、蛍光管 ●種類別にナイロン袋等に入れて出して下さい</p> <p>※部落、氏名を書いて下さい。</p> 
<h3>粗大ごみ</h3> <p>■テレビ、冷蔵庫、洗濯機、自転車など</p> <p>※部落、氏名を書いて下さい。</p> 	<h3>もえるごみ</h3> <p>■紙くず、台所の生ごみ、紙おむつなど ●ごみ収集袋等に入れて出して下さい</p> <p>※部落、氏名を書いて下さい。</p> 

のエネルギーを節約することに結び付きます。混ぜればごみ、分ければ資源。ごみだって大切な資源。ごみにも命があります。

あなたの責任ある分別を

缶やビン、さらにビンは色別にコンテナに分別することになっていきます。徹底している方はどれくらいいるでしょうか。なぜ、色別に分別をするかという、ビンを再生する時、同じ色を使わないと再生が不能となるからです。ごみを出す段階で適切な分別が行われていないと、効率的な処理ができないばかりか、せっかくのリサイクルができなくなってしまう。ちょっと忙しいから、といった利己的な考え方でものごとを判断するのはなく、広い視野から見た正しい判断の上で、責任あるごみの分別を行ってほしいものです。

ごみを減らす努力を身近かなことから

ごみを減らすには工夫が必

要です。生活を見直してみると、その工夫がきつと見つかるはず。どのような点に気をつけたらよいか考えてみましょう。例えば・・・

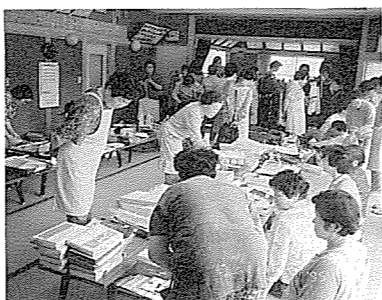
◇ものを買う時は、本当に必要なのか、すぐ不要にならないか、よく検討してから買う

◇各スーパーなどに設置されている、牛乳パックやトレイパックの回収箱を積極的に利用する

◇探す色々な方法があります。ごみを減らす努力を、みたらいかがでしょうか。

バザーでリサイクル

自分の家庭で不要となったものを各自持ち寄って、バザーを開催するなどの積極的な活動が、各行政区や集落で見られるようになってきました。自分の家庭で不要となったものでもまだまだ使えるものはたくさんあります。簡単にものを粗末にしないで、ものを大切に最後まで使い切るという習慣を身につけることも大切なことです。皆さんの積極的な活動と意志が重要です。

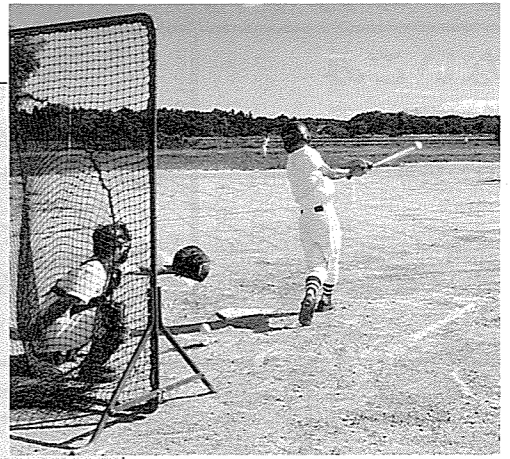


▲大盛況だった高田婦人部のバザー

モラルを忘れていませんか？

今年四月二日に行われたクリーン作戦。各行政区から多くの方が参加し、道路や道端のクリーンアップを図っています。恒例行事で毎年、多くの空き缶や空きビンなどが拾われることは、好ましい光景として受け止めてもいいのでしょうか。自分たちが不意にポイ捨てした空き缶や空きビンを見つけたら、それは、実に情けないことだとは思いませんか。一人一人が責任を持って、初めからくずかごに捨てていたら、わざわざ拾い集めることはありません。道徳を失ってはいませんか。すべては、町民のモラルにかかっています。

あなたの周りの身近な話題をお寄せください。



新地高校 ナインが熱く燃えた

第四十回全国高校軟式野球選手権大会で四年ぶり二度目の優勝を飾った、新地高校軟式野球部は、八月三日、山形県で行なわれた、南東北大会に出場しました。一回戦は、強剛の山形商業高校と対戦。ヒットで反撃しましたが、十対三で惜しくも敗退。無念の涙を飲みました。ひと夏を熱く駆け抜けた球児たちは、ふくしま国体に出場が決定。十月十四日、榎葉町で行なわれる軟式野球の出場に向け、夏休み期間中も練習に励んでいました。



岡地区で 集落農業活性化を展開

田畑や水稲が盛んな岡地区を三年前から、集落活性化地区と制定し、会員五十人（菊池一雄さん会長）による「岡むらづくり委員会」が誕生しました。当初は、農業だけに目を向けられていたのが、今では、岡地区全体にスポットを当て、生活環境面などを問題提起し、改善策の実践を図っています。その一環として八月十二日、五アールいっばいに咲かせた花を岡地区全戸に配達するなど、盛んな活動を行っています。

伊達町と さわやか交流

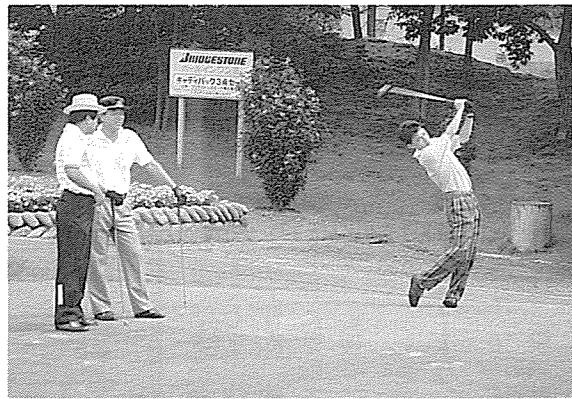
毎年行われ、今年で二十七年目を迎える伊達郡伊達町との社会体育交歓研修会が、八月二十二日、当町で開催されました。体育指導委員会や、体育協会、教育委員会の役員など約五十人が参加した交流会では、海浜公園でソフトボール大会で汗を流した後、農村環境改善センターで懇親会が行われ、お互いの情報交歓をしました。



特養ホーム

夏祭りで暑さ吹き飛ばせ

特養新地ホームの夏まつりが八月十九日、同ホームの中庭で行われました。カラオケ交流会、盆踊り大会、花火大会など、楽しいイベント盛りだくさんの会場には、小川部落、業者、学生の皆さんによるボランティアや家族の皆さんを含めた参加者二百三十四人が目白押しにぎわいました。入所者の皆さんも暑さを吹き飛ばして、楽しく有意義に過ごしました。



町民ゴルフ大会が開催 スポーツ振興基金へ寄付

第十二回を迎える、町民ゴルフ大会が八月十四日、宮城野ゴルフクラブで開催され、町民や町内に勤務する方の約百十一人が参加し、プレイを楽しみました。また、参加者が、スポーツ振興基金へ5万円を寄付しました。なお、ゴルフ大会の成績は、次ぎのとおりです。
▽優勝 佐藤雅義さん（駒ヶ嶺郵便局）▽準優勝 八巻候夫さん（高田）▽第三位 水戸洋一さん（新地町）▽ベストグロス賞 西方形市郎さん（駒ヶ嶺町）



お盆市にぎわう

毎年恒例となっている、新地朝市出店者会が主催の、しんちお盆市が八月十一日、農村環境改善センターで行われました。市には、花木、野菜、青果、ほうきなどのお盆用品が所狭しと広げられ、また、抽選会などのお楽しみコーナーも設けられるなど、約二千人を越す大勢の人たちでにぎわいました。

4保育所で 親子触れ合い夏祭り

保育所の夏まつり大会が七月二十八日、各保育所の校庭でそれぞれ行われました。輪投げや金魚すくいなどの出店が並んだ会場では、子供たちの大満足した表情に満ちあふれ、元気な笑い声ははじけていました。また、浴衣姿に身を包んでの盆踊り大会や花火大会なども行われ、親子で楽しいひとときを過ごしました。



ふくしま国体シリーズ



177人に
ユニホーム交付

ふくしま国体新地町選手団
結団式が八月二十七日、農村
環境改善センターで開かれ、
約二百人が出席しました。
十月十日の体育の日に行わ
れる炬火リレー選手十四人に
委嘱状が、デモスポ競技選手
団百七十七人に新地町の名入
りのユニホームが交付されま
した。デモスポ競技であるグ
ラウドゴルフ、綱引き、ゲー
トボールなどに七種目に出場
する選手一人ひとりが紹介さ
れました。
選手の皆さんは、「新地町
の名に恥じないよう精一杯頑

頑張れ、新地町選手団!

張る」と決意を述べました。
ふくしま国体は夏季大会が
九月十日に、秋季大会が十月
十七日に県内各会場で開催
されます。応援、よろしくお願
いします。

ウォークラリー

開催日 10月15日(日)
会場 梁川町
五十嵐恒雄(小川)加藤孝子
(新地)遠藤綾子(高田)今野ト
ミ子(富倉)菅野敏子(菅谷)



綱引き

開催日 10月15日(日)
会場 会津坂下町
(男子の部)
木村忠男(監督・浜民)吉田
栄喜(マネージャー・藤崎)
渡部仁生(浜民)森義孝(浜民)



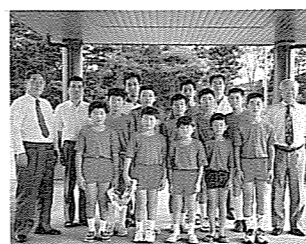
オリエンテーリング

開催日 10月15日(日)
会場 大玉村
日下憲生(小川)石田和之(新
地)佐藤正和(高田)小野恵
子(小川)八巻悦子(菅谷)
八巻京子(高田)林浩徳(上真



少年
バスケット

開催日 9月10日(日)
会場 長沼町
星義一(監督・駒町)森英春
(コーチ・浜民)寺島嘉和(マ
ネージャー・富倉)後藤直之
(富倉)菊地浩伸(原)寺島政
和(富倉)森智一(浜民)阿部
友幸(城内)星雅人(原)桜井
伸彦(新町)森安弘(浜民)森
明彦(浜民)寺島勇吏(富倉)
山口真也(藤崎)



納税功労者に
感謝状



町納税貯蓄組合連
合会会長、加藤清美
さん(新地町)が、
納税の普及と県税の
納税に寄与され、県
知事から感謝状を受
けました。



貯蓄第一納税貯蓄
組合(荒俊雄さん代
表)が優良納税貯蓄
組合に認められ、感
謝状を局長から受
けました。

ご寄付ありがとうございます

- ▼地域福祉基金へ
 - 高橋ツネさん(小川) 5万円
 - 故荒千代治さんのご遺志とし
て荒サヨさん(釣師) 5万円
- ▼スポーツ振興基金へ
 - 第12回町民ゴルフ大会参加者
一同 5万円
 - 西方市郎さん(駒ヶ嶺町) 20万円
- ▼教育振興基金へ
 - 加藤幸夫さん(下真弓) 3万円
 - 斎藤洗且さん(藤崎) 10万円
- ▼寄付・慰問
 - 特養新地ホームへ
 - 新地町老人会婦人部
- ▼ボランティア
 - 特老ボランティア(福田、新
地、駒ヶ嶺の女性の皆さん)
 - レマンの会 1回3人
 - J.A.すずらん 3回6人
 - 新地高校家庭クラブ 1回17人
 - 相馬女子高校 3回6人
 - 小川若妻会 1回2人
 - 町役場女子職員 1回3人
- ▼その他
 - 河内すえこさん(富倉) タオル外多数
 - 洗濯石けん、化粧石けん
 - 寺島幹雄さん(小川) テッシュペーパー
 - 小川部落約100人 夏祭り応援

母と子の健康だより

●母子手帳持参。●3ヵ月児健診は、通知がいきませんので予定表
を見て受診ください。●該当する健診日に受けられなかった方は、
翌月の健診日に受けましょう。

健康審査等	対象者	日(曜)	受付時間	場所
母子手帳 交付	妊娠とわかったらなるべく早く、母子健康手帳の 交付をうけましょう	9/22(金) 10/6(金)	9時 ～10時	新地町 役場
3ヵ月児 健診	平成7年5月 ～6月生	9/29(金)	13時～ 13時15分	新地町 母子健康 センター
1歳児 相談	平成6年7月 ～8月生	9/6(水)	9時45分 ～10時	農村環 境セン ター
3歳児 健診	平成4年5月 ～8月生	9/18(月)	13時～ 13時15分	遠藤内科 医院での 個別接種
三種混合 百日咳 ジフテリア 破傷風	1期初回:生後6ヵ月 ～90ヵ月 1期追加:1期3回接 種後1年～1年半後に 1回接種	～12/28 月～土 (第2土曜除 く)	8時～12時 2時～5時	遠藤内科 医院での 個別接種
麻しん	生後12ヵ月 ～90ヵ月	9/1(金) ～9/30(土)		遠藤内科 医院での 個別接種

保健だより
がんを防ごう

九月は「がん制圧月間」に
なっています。生活習慣を見
直し、がんを予防しよう。
○がん克服のキギは定期検診
と生活改善
がんが日本人の死因トップ
の座を占めた一九八一年。ほ
とんどのがんは、その後も増
え続けています。しかし、が
んをこわがる必要はありません。
がん治療法は日進月歩。

ビタミンを多くとろう

<p>ビタミンA</p> <p>牛や豚のレバー、 にんじんなどの緑 黄色野菜など</p>	<p>ビタミンC</p> <p>果物、新鮮な野菜、 緑茶など</p>
<p>ビタミンE</p> <p>米・麦の胚芽、卵 黄、牛乳、植物性 の油など</p>	<p>食物繊維</p> <p>緑黄色野菜、もや し、さつまいも、 じゃがいも、ごぼ う、海藻など</p>

最近では、胃がん、子宮がん、
乳がんなどは、節煙と食生活
によって、いずれも早期に発
見して治療すれば、ほぼ完全
に治るようになってきました。
問題は、いかにして早期にが
んを見つけるかということです。
その意味でも、定期的に検診
を受けるようにしましょう。
また、これまでの研究から、
禁煙と食生活の改善で、がん
のかなりの部分が予防できる
こともわかってきました。も
う一度、ふだんの生活習慣を
見直し、がんの原因を遠ざけ
ましょう。

○食生活の改善

ビタミンA。C。Eや食物
繊維を含む緑黄色野菜や果物
などは、がんを防ぐ働きがあ
るといわれています。とくに
食物繊維は便通をよくし、大
腸がんの予防にも役立ち、ま
た、悪玉コレステロールも吸
収して体外に排せつする働き
があります。積極的に食生活
にとり入れましょう。

お知らせ

新地町役場/〒979-27 福島県相馬郡新地町谷地小屋字萩崎40 TEL 0244(62)2111・FAX 0244(62)3194

相馬地方広域水道 企業団職員募集

相馬地方広域水道企業団では、次ぎの要項で職員を募集します。

募集職種・採用予定人員
技師及び事務職員 若干名
受験資格
昭和46年4月2日から昭和53年4月1日までに生まれた方。

試験日

1次試験 10月22日(日)
2次試験 11月下旬(予定)

場所 相馬市役所水道事業所
2階会議室

申し込み期限 10月2日(月)
受験手続き

当企業団総務課にある申し込み用紙に必要事項を記入し、履歴書を添えて提出してください。

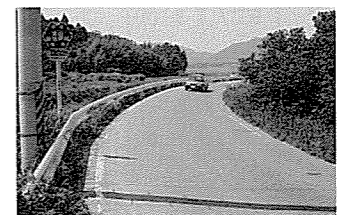
問い合わせ先
相馬地方広域水道企業団総務課(☎0244-1020)

国体スタンプラリー に参加しよう!!

ふくしま国体夏季大会、秋季大会の開催が間近となりました。そこで、大会期間中各競技会場でスタンプラリーを

9月から自転車通学 安全な登下校に協力を!!

福田小学校に通う児童の中で、通学距離が長い「埴浜地区」の児童については、9月より自転車による通学を行うことになりました。しかし、通学路途中の県道の一部が未改良のため、カーブで幅員も狭く見通しも悪い区間があります。



▲狭く見通しが悪い、みちのく食堂から西の区間

登下校時にこの付近を通行されるドライバーの皆さんは、児童の安全な通学にご協力をお願いします。

実施します。是非、参加ください。
実施期間
ふくしま国体夏季、秋季大会開催期間中
実施方法
応募用紙に各競技会場に設置してあるスタンプを3競技会場分押して、県国体局に郵送で応募してください。

応募用紙は、各競技会場のスタンプラリーコーナーの他、公民館、体育館などに設置しています。
応募締め切り
平成7年10月26日
(当日消印有効)
応募先

介護福祉士 国家試験が実施

介護福祉士国家試験が次ぎの日程で行われます。

【試験期日】
筆記試験
平成8年1月21日(日)
実技試験
平成8年3月10日(日)
申し込み期限 9月20日(水)
詳しくは、財団法人社会福祉振興・試験センター(☎0

7日	海開き
21日	県立学校施設整備期成会
25日	理事会
26日	社会福祉会
27日	国会議員陳情
28日	全国町村会臨時総会
31日	県技術センター理事会
8日	県権災救助基金
1日	課長会、社協理事会、第1回県防災会議地震津波対策会議、町消友会総会
2日	相馬地方市町村議員ソフト大会
5日	遊海しんち95
7日	平成7年度港湾工学研究員歓迎会
8日	相馬地方広域圏管理者会、相馬地方市長村会、平成7年府民党移動政調会、釣師浜地区下水道説明会
10日	農業常任会議、相馬地方水道企業団理事会
11日	警察官友の会総会
13日	町戦没者追悼式
15日	成人式
19日	新地ホーム夏祭り

町長日記
荒
和英

31348617521または、役場町民課(☎024111)へ。

緑の写真コンクール 作品募集!!

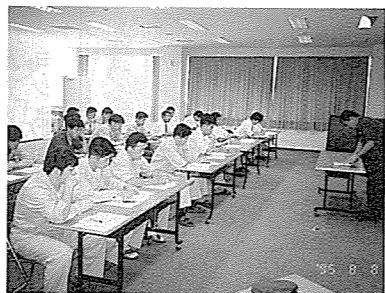


福島民報社では、県緑化推進委員会と共催で、「ふくしま写真コンクール」を実施し、森や公園など豊かな緑を題材とした作品を募集しています。役場受付または、産業課に応募票が置いてありますので、

そちらを利用して応募してください。
問い合わせ先
福島民報社事業局
(☎0244504173)
県緑化推進委員会
(☎02445041480)
応募締め切り 10月31日(火)

9月9日は 救急の日

9月9日は「救急の日」です。昭和57年に救急医療と救急業務について正しく理解し認識すること、救急医療関係者の意識を高めることを目的として制定されました。新地分署では、救急事故等の発



▲熱心に受講する救急救命講習

生時における救命効果の向上を図るために住民に、応急手当に関する正しい知識と技術の普及を目的とした講習を実施しています。
講習会の開催については、新地分署(☎024117)までお問い合わせください。

公民館・勤労青少年ホーム こよみ 9.6~

9月	
7(木)	手編み教室(午後1時30分~ 駒ヶ嶺公民館)
8(金)	墨絵教室(午後1時30分~ 駒ヶ嶺公民館)
12(火)	生け花教室(午後7時~ 勤労青少年ホーム)
13(水)	書道教室(午後1時30分~ 駒ヶ嶺公民館)
	生け花教室(午後1時30分~ 新地公民館)
14(木)	婦人学級(午前9時~ 新地公民館)
	着付教室(午後1時30分~ 駒ヶ嶺公民館)
	押し花教室(午後1時30分~ 勤労青少年ホーム)
16(土)	3B体操(午後1時30分~ 新地公民館)
18(月)	陶芸教室(午前10時~ 勤労青少年ホーム)
19(火)	英会話教室(午後7時30分~ 新地公民館)
21(木)	手編み教室(午後1時30分~ 駒ヶ嶺公民館)
22(金)	墨絵教室(午後1時30分~ 勤労青少年ホーム)
	気功体験(午後3時~ 新地公民館)
27(水)	生け花教室(午後1時30分~ 駒ヶ嶺公民館)
28(木)	婦人学級(午前9時~ 新地公民館)
10月	
4(水)	カラオケ教室(午後7時~ 勤労青少年ホーム)
5(木)	手編み教室(午後1時30分~ 駒ヶ嶺公民館)

エネルギーの新しい火が 燃える町 しんち



面積46.40km² 東西9.5km 南北7.4km
(平成7年2月10日現在)

町の木/マツ 町の花/サクラ
町の鳥/キジ 町の魚/カレイ

戸籍の窓

7/21~8/20届出

▷出生(届出は14日以内に)
おめでとうございます。

(子供)	(親)	(地区)
和幸 早川 和男 岡民 夏美 早川 典夫 浜地 由史 高橋 福洋 鉄砲 菜実 横山 山修 明川 有龍 柴崎 孝郎 小川		

▷死亡(届出は7日以内に)
おくやみ申し上げます。

(死亡者)	(年齢)	(地区)
加藤 宗 7歳 下真弓 高橋 敏夫 72歳 小川 斎藤 フクヨ 96歳 藤崎 石田 タイ子 70歳 高田 今野 ツメヨ 83歳 小川 目黒 忠美 59歳 小川 佐藤 武夫 83歳 今泉 横山 太郎 81歳 明地		

※この欄に掲載を希望しない方は、届出のときに申し出てください。

人口と世帯

8月1日現在()内は前月比

人口	9,078人	(+8)
男	4,463人	(+8)
女	4,615人	(±0)
世帯数	2,316世帯	(+2)

今月の納税

国民健康保険税	第3期
国民年金	9月分

水道修理当番業者

9月10日~16日	佐藤水道設備	62-3492
17日~23日	山内工業(株)	36-2826
24日~30日	花塚熱学工業(有)	36-2334
10月1日~7日	(株)トーヨー建設	62-5151

みんなのひろば



サークルで交流を

— 白柳章剛さん (25歳・作田) —



「明るさが取り柄」と話すノリヨシさんは、相馬クボタ原町本社に勤務し、今年で三年目を迎えます。コンピュータをこなして、経理を担当していますが、将来は営業やサービスの方も覚えたいと豊富を語ってくれました。小学校から高校まで、剣道をやってきたノリヨシさんは、スポーツ

が好きで、夏は海へ、冬はスキーと、フルシーズン、スポーツを楽しみます。これから、サーフィンを始めたいそうです。また、サークルを通じて多くの若い人たちとの交流を深めたいので、楽しいサークルがあったら、誘ってくださーいと言。最後に理想の女性を聞いたところ、一緒にスポーツを楽しめるような方と話してくれました。

あの文芸

野ぶどう会

流灯の闇をほぐして影を置く
残る葦大きく揺らす行々子
向日葵の百花暮れゆく明日ありと
還らざる子の歳数え終戦忌
土用蛭厨の水の深さかな
香水のよぎりてゲートボール場
花火よりこぼれ街の燈生まれしか
新しき料理店にて夏料理
揚げ花火宇宙のロマン闇に散る
中天にちよぼ口開き花石榴
清水汲む地蔵の供花に山の百合
庭草のゆれ動きいて秋めきぬ
夏の川飛石わたる水しぶき
端居して海より直の風流る

代光 富峰
渡辺 たかお
加藤 白穂
横山 芳美
寺島 馬健
氏家 渭城
石田 よし子
林藤 清子
斎藤 ヨシ子
桜井 ヨシ子
田辺 子
志茂 尚子
菅野 トメヨ

世相川柳

振袖を

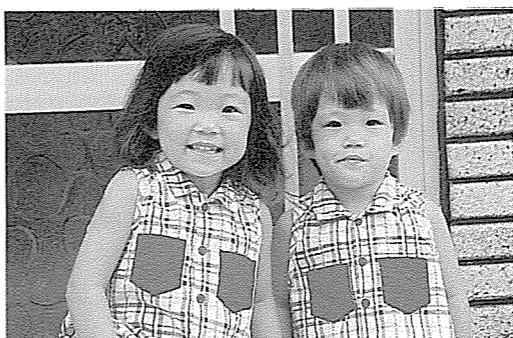
一人できらぬ我が娘

阿部 進 (小川)



▲目黒清明さん夫妻によって、鹿狼山道脇に花が植えられました。

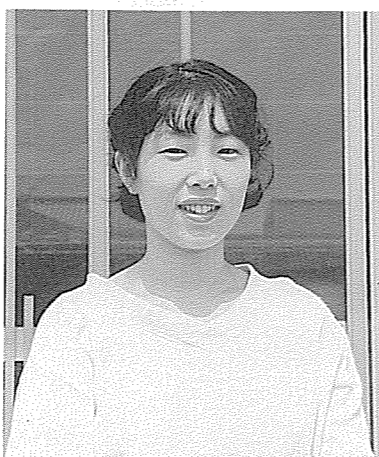
わが家のアイドル



黒麻衣ちゃん
麻奈ちゃん
(2歳11カ月)

麻衣ちゃんと麻奈ちゃんは、双子の姉妹。二卵性で生まれたので顔も似てなく、性格も正反対。麻衣ちゃんは活発だけど、麻奈ちゃんは、おっとり屋さんです。だけど、仲良し姉妹です。「健康に育ってほしいですね」とママの美和さんからのメッセージ。

おねえさん



あらみ 荒和美さん
(昭和48年7月16日生まれ 釣師)

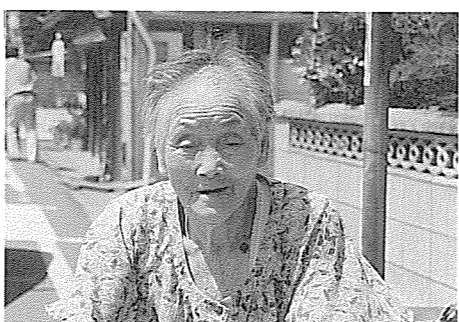
仕事を頑張っています!!

今春四月から、相馬の特別養護老人ホームで、養護士として、入所者の生活全般の世話をしていきます。「今、熱中していることは仕事。仕事に、やりがいを感じています」と話す和美さんです。

- ◇趣味は ☆保育所にいた時から続けているピアノを弾くこと
- ◇休日は何してますか ☆ショッピングを楽しみます
- ◇好きなスポーツは ☆月に一度行くボーリングです
- ◇これから、やってみたいことは ☆いつかテニスを始めたいです
- ◇最近の出来事で印象に残ることは ☆水族館で見た魚がきれいだったこと
- ◇町に望むことは ☆スポーツ全般が楽しめるスポーツ施設を作ってほしいです。

朝五時起きで畑仕事

— 阿部アサノさん (88歳・新地町) —



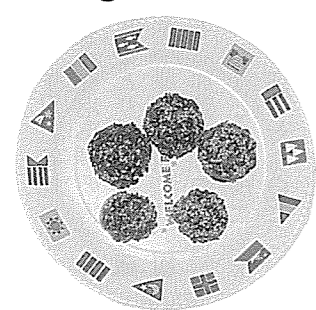
「今の人たちには想像できない世の中を歩いてきたよ」と話すアサノさんは、明治四十年生まれ。戦後は、子供をおんぶしながら、コトコト汽車に揺られ仙台方面へ行商したこともあり。現在は、運動も兼ねて、畑仕事に精を出し、毎朝五時に起きて畑に向かいます。節折々の野菜を一つ一つ丁寧に育て、今の時

期には、とうもろこしや、あずきを収穫しますが、丹精こめて収穫した野菜は子供たちや近所の皆さんにおすそ分けをし、皆さんに喜んでもらえることが何よりも嬉しいと語ってくれました。アサノさんは、暑さにも負けず、補助車を押して今日も散歩へ出掛けます。

おじいさん おばあさん

ちりめんせんべい

岡田慶子さん (岡) 作



材料
・ちりめん ・ゴマ ・はちみつ
・塩少々

作り方
フライパンにゴマ油を熱し、ちりめんを入れゴマとはちみつ塩少々で味付けます。少しさめたころラップに取り形取ります。

しんちの語り部たち ①

今月からシリーズで「しんちの語り部たち」をおおくりします。ここに掲載される口頭伝承は、昔話の定義にあてはまるものはほとんどありません。いわばよもやま話です。

お年寄りの幼いころの体験談、ラジオもなかった時代に父母や祖父母から聞いた話などを集めました。

昔の人々が折りに触れ、ことに触れ、話題にのぼせた事柄から、新地の地域性をいくらかでも感じていただければと思います。



しび かつお 鮪や鰹の大漁でにぎわう

漁場の目印は山

かつお節もつくった。浜北の荒家の所をつくった。ゆでたかつおの骨をもらって、しゃぶるのが子供たちの楽しみだった。

海のこと、親からよく教えられた。西から吹く風を「サガ」といった。西北は「マカタ」北が強いと「北マカタ」、東北は「ユチ」、真東は「ウー」、南は「イナサ」といった。

漁場の目印に山や、丘の目ぼしいものは何でも使った。福島の吾妻小富士は「クシミ」といった。沖に出ると近くの山は沈んでしまう。奥の山を見定めることを

「ためす」といった。五社壇は「大ごと」、その北は「小ごと」といった。

冬には、牛川と谷地小屋のおやしき（谷地小屋要害）の池から水をとり、それを貯蔵した。氷小屋（氷室）は、観音堂の下（加藤家）の所と、牛坂家の所など三カ所に岩を切り抜いて作ったもので、かなりの量を貯蔵できた。

氷の厚さは一尺（三十センチ）ぐらいあった。川に張った氷に水をかけて厚くしたものだ。この氷を田植え（六月）ごろまで使った。氷があるうちは、伊達の方まで魚を売りに行った。

伝馬船一貫丸といったいはえなわ漁を行った。なわぶちといった。夏には、カレイ、アイナメ、メバル、それにハモも捕れた。大正年間までは、釣師、大戸浜には、同じくらの漁師がいたが、大正以降に釣師の人たちに転業者が多くなった。

後藤昇氏（明治四十二年生まれ、平成三年逝去）、平成元年五月九日談

■「しんちの語り部たち」は目黒美津英氏（町教育長）の「聞き書きノート」を基に、広報担当で編集したものです。

表紙に寄せて



恒例のあんこ地蔵供養が八月二十三日、小川地区の二羽渡神社境内のあんこ地蔵で行われ、同地区の若妻会・やよい会の役員が地蔵の口の周りにあんこを塗って供養しました。

夜には地蔵が見守るなか、過ぎゆく夏を惜しむ盆踊り大会が盛大に行われました。

こちら

編集室



空を見上げると…いわし雲。秋の気配を感じさせる今日このごろです。◆秋は、心機一転するのに一番いい季節ではないでしょうか。私もスポーツを始め、いい汗をかきたいなと思っています。皆さんもどうですか。 (M)